

# 居合道 だより

第144号



## 特集

事務局長退任・着任のご挨拶

第51回福岡県居合道大会スナップが各所に

破邪剣正一鞘・破れの修復 その2



『虹の環に 白雲を容れ 通らしめ』

山口誓子

梅雨末期の晴れ間、ふと見上げた空にうっすらと虹が架かっている。天の神様から何か贈り物を頂いたような気持ちになる。今年は昨年のようなゲリラ豪雨被害に見舞われなければ良いのだが。

サッカー W 杯テレビ観戦で寝不足気味の頭に、二年後に迫った東京五輪のことが浮かんでくる。

たしか五輪サッカーは年齢制限があって、今回の W 杯メンバーのほとんどは出場出来ない。それでも今回の日本チームの決勝トーナメント進出は、東京五輪世代に大きな自信を与えたはずだ。

自信は自分の過去の成功体験からしか得られないと思っていたが、案外そうでもないようで、他者の成功体験からも得られる自信というものが有るような気がする。

競技に限らず、生きるすべにおいても「彼らが失敗にもめげず、あんなに頑張って結果を出しているのだから、同じ人間として自分も出来ないはずがない」とい



う心理である。いわゆる、勇気をもらったということである。

どことなく閉塞感のある現在の日本でも、近頃素晴らしい才能を持った10代の若者たちが出現してきた。水泳の池絵璃花子選手、卓球の張本智和選手、あるいは将棋の藤井聡太君等である。彼らの活躍は同じ世代の若者にとっては大きな希望になっていることだろう。頑張ればきっと未来は明るい。ふと見上げた曇り空に虹を発見したように。

先月の県居合道大会、三段の部決勝戦は20代の女性と、なんと80代の男性Tさんだった。Tさんは1回戦から決勝戦まですべての試合で心技体、堂々の演武で、皆が納得のいく試合内容だった。年輩だからとの情状が入り込む隙など微塵もなかった。

Tさんは今年の3月に三段に昇段されたが、その時の演武も気迫、力強さ、風格等実に見事なもので鮮明に記憶に残っている。

今年75歳で八段に昇段されたK先生といい、今回のTさんといい、まさに生涯武道の実践者、われわれの鑑である。どんなに希望をいただいていることか。

梅雨の合間の虹のように。

# 主な活動と6・7月の予定

## 主な活動

6月	3日	日	福岡県居合道講習会及び 称号講習・級審査 アクション福岡	福剣連 多目的アリーナ
	9日	土	福岡県剣道連盟 総会 ホテルサンライン福岡	福剣連
	24日	日	第51回福岡県居合道大会 福岡武道館	福剣連

## 7月・8月の活動予定

7月	6日	金	居合道6・7段審査会	全剣連 和歌山県
	7～8日	土～日	居合道地区講習会	全剣連 和歌山県
8月	5日	日	居合道講習会	居合道部 福岡市中央体育館





福岡県剣道連盟居合道部  
理事 國方 孝之

## 居合道部事務局長退任にあたり

この度、居合道部事務局長を交代することになりました。

平成24年に事務局長に就任し、以来3期6年がたちました。

今まで居合道部会員皆様からのご支援、ご協力の下で事務局を続けることができ、心より感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。事務局長在任中には、色々と不行き届きが多々あったかと思いますが、ご容赦の程、お願い申し上げます。

事務局時代の思い出は、なんといっても第50回全日本居合道大会が福岡県剣道連盟主管にて行われたことです。試合も個人3部門優勝、団体優勝の完全優勝と、居合道部会員皆様の多大なるご協力を得まして無事大会運営も成功裡に終えたことに大変感慨深いものがありました。

全日本居合道大会の地元開催を経験するのは2回目で、1回目は広島県在住時ですが選手として、2回目は福岡県剣道連盟居合道部事務局として地元開催の準備運営です。2回の地元での全日本居合道大会開催で、選手の時と事務局の時とそれぞれ違う意味で良い経験をさせて頂いたと思います。

大会の約1年前からの準備に始まり、大会当日と大会後の処理作業と目まぐるしい1年を経験させて頂いたことが今では良い思い出となっております。

今後は、居合道部 理事 及び 総務委員として、福岡県剣道連盟居合道部の発展に微力ながら務めさせて頂く所存ですので、今後ともよろしくようお願い申し上げます。



福岡県剣道連盟居合道部  
事務局長 馬場 清治

## 居合道部事務局長着任にあたり

この度、井手友太理事長にご推薦をいただき、事務局長を拝命いたしました。

今後、少しでも居合道部皆様のお役に立てるように、努力する所存です。

今までは事務局から届けられる各種案内等に目を通し期日までに提出、申し込みをして行事に参加それで終わりでしたが、今回実際に第51回福岡県居合道大会の申し込みを処理させていただいて事務量の多さ、行事の運営の難しさに驚きましたが皆様のご協力を賜り、何とか無事に大会も終えることができました。この事務局の業務については皆様方の協力なくしては成立しないと実感した次第です。

まだ事務局の業務のすべてを把握しているわけではございませんので、不行き届き等多々あるかとは思いますがそのときは忌憚なくご意見いただきますようお願い申し上げます。

皆様のご支援ご協力を頂戴しながら粉骨砕身して努めて参る所存です。

今後ともよろしくようお願い申し上げます。

## 道場訪問 - 水巻町居合道同好会 ～故山下貞利先生発足の名門道場～

道場訪問—水巻町居合道同好会～故山下貞利先生発足の名門道場～

約42年前、元理事長範士 故山下貞利先生の呼びかけで発足し剣道をされておられた国武先生が35歳で発足時から参加され今日に至る。

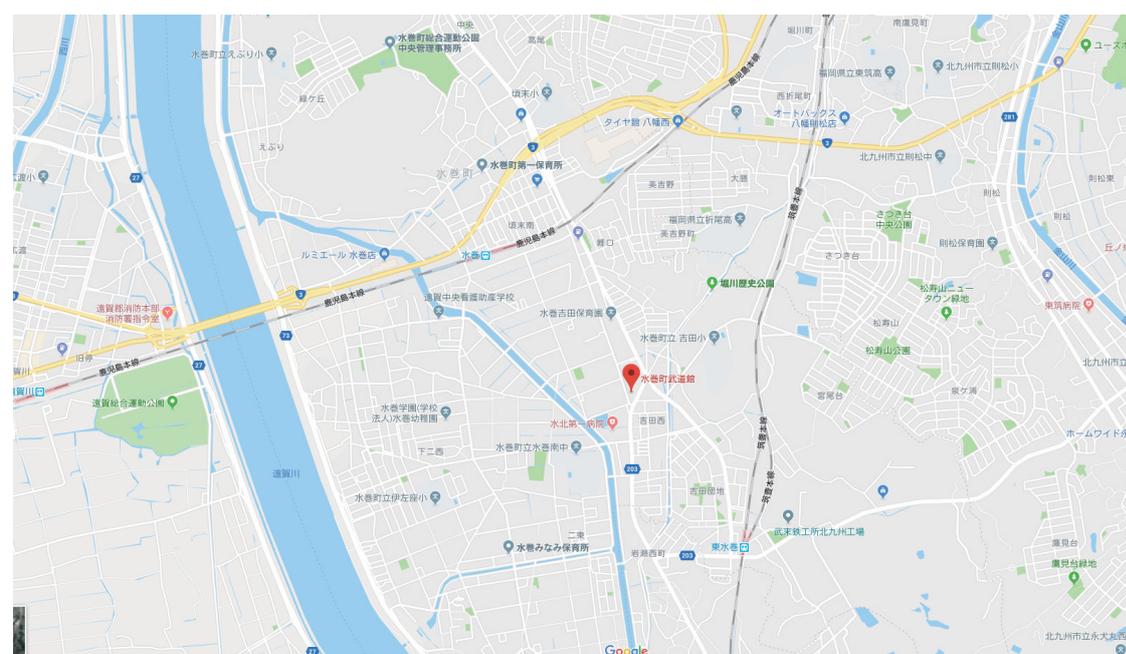
会員数は現在6名 教士七段 国武先生を筆頭に六段が3名、四段が1名、三段が1名で稽古しています。

指導方針は、”斬れる居合”を目指し、体幹、姿勢を意識した 基礎稽古に重点を置き、以前、講習会で指導して頂いた”四方切り”などを積極的に取り入れている。

見学歓迎！また初心者歓迎です。居合道初心者体験教室も受け入れ可能です。

稽古場所：水巻武道館  
剣道のコートが2つとれる広さで周囲に観客席もあり雰囲気のある武道場。

稽古日時：毎週 火曜日  
PM19:00～20:45





## 破邪剣正・鞘、破れの修復 その2

### <修復本作業>

4. 鞘を切込む範囲を針先で印を入れ、切り出しナイフ(カッター)で切込みます。  
5. 切込んだ部分の面をヤスリで整形し、予め切込んだ部分に合わせた補修材をあて、接着面及び補修材の面に隙間が無いように微調整を行います。

6. 鞘の内部及び接着面のゴミを綺麗に取り除き、接着します。この時、鞘の内部に接着剤が食み出さない様にします。(接着剤はアロンアルファが使い易い)

7. 十分乾燥したら鞘の形状に合う様に補修材を小反鉋又はヤスリで削ります。

角張った所が無く成ったら木工用パテで凹みや繋ぎ目を高めに埋め、乾いたら再度仕上げの削り作業を行い下地は完成です。

仕上げの削り込みは埋め込んだ部分より広く削り補修カ所が分からない様に鞘の曲線の調和を重視して行います。

(4～7項で使用するヤスリは、#120.#240番の紙ヤスリを手頃の角材に両面接着テープで張り付ける事で荒削りから仕上げ削り用ヤスリを作ります。)

8. 補修部の塗は、乾きの早いカシュウ塗料を用いで行います。

塗の作業は、一度に厚く塗らずに薄く塗り、2回目が乾いたら #400番で滑らかに削り更に2回塗り磨くと綺麗に仕上げられます。

刀の補修について私が行っている簡易的な方法を書かせて頂きましたが、本来の修理手順や方法と違う点も多い事と思いますので、改善点等についてお知らせ頂けますようお願いいたします。(佐藤)



© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第144号 平成30年7月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847